一般社団法人

三重県建設業協会の取り組み

平成28年1月29日

-般社団法人 **三重県建設業協会** 事務局長 大井良之

中部圏建設担い手ネットワーク協議会

実施事業

- •DVD「建設業 夢を形にす る世界」の作成
- •建設若者塾の開催
- ・中部圏建設業新人歓迎 フォーラムの開催
- ・建設業入職案内ポータルサイトの作成





-般社団法人 三重県建設業協会 の取り組み

1. 高校生インターンシップの実施

建設専門学科に学ぶ高校生を対象に、当協会所属の会員企業が協力してインターンシップを実施

四日市工業高等学校 建築科3年生 8名が7社で実習 伊勢工業高等学校 建築科2年生 9名が6社で実習 四日市中央工業高等学校 都市工学科3年生 32名が17社で実習

2. 高校生現場見学会の実施

参加総数 354名 (9校 生徒数334名 教員数20名)

高校名	学科	見学現場	人数
伊勢工業	建築科	磯部地区幼保一体化施設整備事業新築工事ほか	36
近大高専	都市環境コース	国道23号中勢バイパス整備工事ほか	49
四日市中央工業	都市工学科	東海環状自動車道整備工事ほか	41
津工業	建設工学科	新名神高速道路工事ほか	41
四日市工業	建築科	いなべ市立(仮称)藤原小学校建設工事ほか	42
昴学園	総合学科	新名神高速道路工事ほか	31
伊賀白鳳	工芸デザイン科	伊賀消防本部庁舎新築工事ほか	40
相可高校	環境創造科	国道23号中勢バイパス整備工事ほか	42
久居農林	環境土木科	臨港道路(霞4号幹線)整備工事ほか	32







3.3級・4級建設業経理事務士特別研修の実施

4級特別研修

伊勢工業高等学校 建築科1~3年生 29名が受講 四日市工業高等学校 建築科1、2年生

(H28年3月に実施予定)

3級特別研修

四日市工業高等学校 建築科3年生 27名が受講津工業高等学校 建設工学科2、3年生 17名が受講





建設専門学科設置高校等の 進路指導教諭との情報交換会

出席者

- 三重県教育委員会事務局高校教育課
- 三重県立四日市工業高等学校
- 三重県立四日市中央工業高等学校
- 三重県立津工業高等学校
- 三重県立久居農林高等学校
- 三重県立相可高等学校
- 三重県立昴学園高等学校

オブザーバー 三重県県土整備部建設業課長



情報交換会における要望

- ・授業でできない実際の作業を学校で生徒に見せて、体験させたい
- ・現場見学会において見学だけでなく、現場の作業を体験させてほしい

三重県と (一社)三重県建設業協会が連携した取り組み

親子現場見学会の実施

三重県内の各建設事務所と当協会支部 が連携して、地元の小学生を対象に「建 設現場親子見学会」を開催 普段見ることが出来ない現場を見学し、 整理整頓された現場に驚きの声が・・・・





三重県建設産業担い手·確保育成協議会 の設置

構成員

国土交通省 中部地方整備局

厚生労働省 三重労働局

三重県県土整備部

三重県教育委員会事務局

三重県高等学校 工業教育研究会

富士教育訓練センター

三重県建設産業団体連合会

一般社団法人 三重県建設業協会



実施事業計画

①若年者確保・育成のための教育訓練体系の構築と実施する事業

企業の枠を超えて、企業が有する経験や知識を持ち寄ると共に教育機関や行政機関と一体となって、新たに建設産業に入職する若年者を確保・育成するための教育や訓練を実施する仕組みを構築し、実施する

例、1

日	科目	内容	その他
1日目	概論	社会人としてのマナー、工事の概要、責任と義務など	講義
2日目	安全教育	危険予知訓練	講義
3日目	基本技能1	現場における服装・標識、 基本動作(持ち上げる・運ぶ)	実習
4日目	基本技能2	道具を使う(結ぶ、切る、ハンマー・ドリルを使う)	実習
5日目	基本技能3	測る(水準器・レベル・トランシットを使う)	実習

例、2

富士教育訓練センターの活用

①認定訓練コースを活用する

コース名	概 要	対象者
土木入職時導入教育	土木工事における入職時教育として、基本的な技術・技能 を習得する	新規入職者
建築入職時導入教育	建築工事における入職時教育として、基本的な技術・技能 を習得する	新規入職者
型枠基礎	型枠工事の概要等について基礎的な技能を習得する	初心者
左官基礎	左官の伝統工法等の基本を学び左官工法を活用した内装 仕上げができる技術を習得する	初心者
測量	測量についての基礎的な技能を習得する	初心者

②三重県独自のコースを設ける

協議会で新規入職者に必要な研修内容を検討し、富士教育訓練センターの施設を活用して実施する

②普通科高校・建設専門学科設置高校等の進路指導教諭との情報交換会や建設産業に関する説明会を実施する事業

建設業に対する理解の増進と、進路指導に役立てていただく事を目的に、普通科高校・建設関係学科設置高校等の進路指導教諭の方々を対象とする情報交換会や懇談会、説明会を開催する

説明会の例 (3時間程度)

項目	内。容
建設業の概要	建設業について、技術者と技能者の業務、将来性など
工事の種類	29業種、専門工事業について
建設業への適正	建設業に向く学生、向かない学生について
将来設計	年代ごとの仕事内容と待遇など

協議会における意見

- ①専門学科の高校生ばかりでなく、普通科高校の生徒もインタ ーンシップができるように
- ②小中学生にもインターンシップの体験を
- ③小学生の親子対象とした現場見学会の実施を
- ④合同企業説明会において、建設業の仕事について説明を
- ⑤今後更なる横の連携を深め、若年者が入職しやすい環境を など

ご清聴ありがとうございました

専門工事業団体による合同新人研修

(一社) 三重県建設業協会

(一社) 岐阜県建設業協会

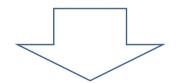
(一社) 愛知県建設業協会

(一社)静岡県建設業協会

(中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会)

最大の目的

建設業へ就職希望する学生の不足(特に専門工事業)



このままでは10年後の建設業界は?

専門工事業におけるこれまでのリクルート

いわゆる「人づて」

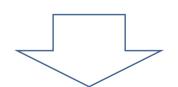
「知り合いの知り合い」

いわゆる「やんちゃ」な若者

先輩の紹介による後輩の就職

入ってみるまで どんな仕事か わからない

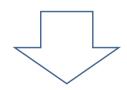




こま使いや補助業務ばかり 嫌気がさして早期退職

悪質な業者がいることも事実

「高校中退、鑑別所経験等を 理由に月5万円で雇用」



そのような経験からも建設業に嫌悪感

変えていくためには

正しい建設業の情報提供と教育が必要

建設みらい懇話会におけるPTAの発言

「建設業は若者の使い捨てのイメージがある」

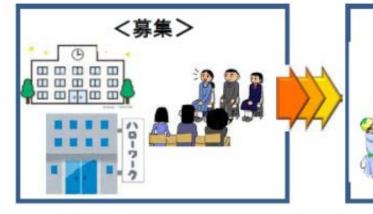
「もっとていねいに育てて欲しい」



建設労働者緊急育成支援事業

現在無職や定時制高校の学生に対して職業訓練を無料で実施して、 終了後は就職あっせんを行うもの。

(イメージ)





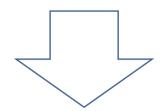


中部における職業訓練

建設業の基礎知 識を座学で勉強し た後、とび・鉄筋・ 型枠など1日ずつ 違う職種を経験し、 自分に合った職種 を探すことが目的。



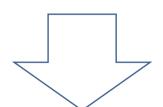
(しかしながら) 緊急支援事業は「無職」であることが条件



就職したばかりの新人の研修には 使用不可

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム事業 地域連携ネットワーク構築支援

今年度就職した新人に対する教育を各業種の組合ごとに実施してはどうか



建設業及び個別職種に関する正しい知識の習得

研修メニュー(例)

1日目 (座学) 建設業界のしくみ、労働安全関係など

2日目~3日目 (実技)個別職種の実技研修

4日目 (現場見学・まとめ)修了式



(内装工事の例)

①離職防止(投げだしの防止)

「仕事がわからないまま一週間で退職」

のような事態を減らす。



(とび・土工の例)

②正しい理解

「人によって言うことが違う。」 (OJTの弊害)

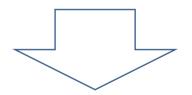
のような事態を減らす。



(型枠の例)

③モチベーションの向上

「自分は建設業界に必要とされている」という認識



「金の卵」



(左官の例)

④友人の増加

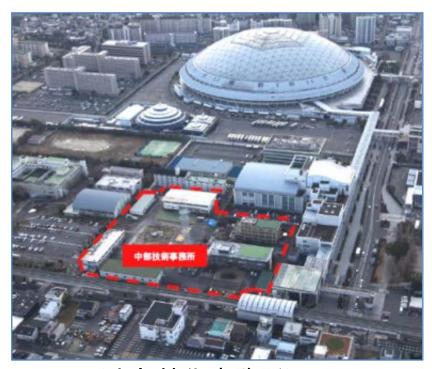
同じ職種の新人同士のつながりを形成して離職防止に



(鉄筋の例)

中部技術事務所の活用

研修実施に関しては,可能な限り中部地方整備局 中部技術事務所を利用して費用の低減を図る。



(中部技術事務所)

(参考)

現時点における意思表示

●内装

●とび・土工

検討中

.

ご清聴ありがとうございました



(建設若者塾)



(中部圏建設業新人歓迎フォーラム)